

(案)

大阪府四條畷市レベル4モビリティ・地域コミッティ会議会議録

概要

- ・日時 : 令和8年 7 月24日(金) 15時00分～16時00分
- ・場所 : グリーンホール田原 1階「なるなるホール」(Web 併用)
- ・参加 :

- (-) 近畿運輸局 自動車技術安全部 技術課 福永課長(代理:鎌田氏)
- (-) 近畿運輸局 交通政策部 交通企画課 佐藤課長(代理:佐藤氏)
- (-) 近畿地方整備局 大阪国道事務所地域調整課 森本課長
- (◇) 近畿経済産業局 産業部製造産業課 小谷課長
- (□) 大阪府警察本部 交通部交通総務課 西村課長補佐
- (-) 大阪府四條畷警察署 交通課 大野課長
- (-) 近畿総合通信局 情報通信部情報通信振興課 新山課長(代理:新谷氏)
- (-) 大阪府 都市整備部 交通戦略室交通計画課 松井課長(代理:丸地氏)
- (-) 大阪府 スマートシティ戦略部戦略推進室戦略企画課 松本課長(代理:小野氏)
- (●) たわらコネクタート 田中会長(代理:旭氏、仲野氏)
- (-) 株式会社エクセイド 伊藤代表取締役(代理:服部氏)
- (-) 建設技術研究所大阪本社 道路・交通部交通システム室 松井室長
- (-) 名古屋大学未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 赤木特任教授
- モビリティ社会研究所 先進ビークル研究部門
- (-) 奈良先端科学技術大学院大学 笠原領域長(代理:仁田氏)
- (-) 龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻 井上教授
- (○) 地域自治組織の代表者 上田下田原区長(代理:丸石氏)、浅井緑風台代表 中堀田原台一丁目自治会長 齊藤田原台二丁目自治会長 青井田原台四丁目自治会長
- (-) 四條畷市 総合政策部副参事長兼企画広報課 川上課長
- (☆) 四條畷市 都市整備部次長兼都市政策課 北田課長
- (-) 四條畷市 都市整備部建設管理課 大久保課長
- (◎) 四條畷市 田原支所長兼参事 笹田支所長
- (◆) 四條畷市 田原支所 溝口次長 塩見主任 井上

※質疑応答時に発言が無かった参加者は(-)としている。

(案)

資料

- ・大阪府四條畷市レベル4モビリティ・地域コミッティ会議次第
- ・令和8年度事業について
- ・大阪府四條畷市レベル4モビリティ・地域コミッティ設置要綱
- ・大阪府四條畷市レベル4モビリティ・地域コミュニティ構成員名簿

議事要旨

大阪府四條畷市レベル4モビリティ・地域コミッティ設置要綱の一部改正について、令和8年度事業についての説明、自動運転社会実装推進に関する要望・提言について(報告)、田原台六丁目地域主体のアウトドアフィールドづくり(報告)

主な質疑は以下のとおり。

議事2: 令和8年度事業について

○: P.3 自動運転レベル4に実装予定が示されている。田原台は阪奈道路に向かって南北に長いのが特徴と思っているが、自動運転ルートが田原台センターまでで止まっている。マイナンバー等市役所の手続きは支所で、子どもたちの図書館の利用促進という意味では、自動運転レベル4を進めていくことは必要と考えるが、費用がかかっているにも関わらず、グリーンホール田原から田原台センターまでであれば、理解が得られるのか気になる。自動運転レベル4の実装に向けて、夏休み等を使った子どもたちの利用促進や、運行の拡大等実装に向けた気になることが多い印象であった。

◆: 1つめの子どもたちに対しての利用促進については、グリーンホール田原で開催している夏休み子ども教室の一環で、TCCのボランティアの皆様にもご協力いただき、「TCCに乗ってみよう」という企画を2日間実施予定。2日間とも定員いっぱいのお申込みがある。今後も、このような子ども向けの事業も続けていってもらえたらと考えているところである。

また、田原地域内の移動については、今回の資料については自動運転の地図のみとなっているが、デマンド運行(手動運行)というところで、田原地域内に28か所のりばを設けて運行している。

◎: いただいたご意見は非常に大事なことであり、地域内の子どもたちがTCCを乗ってもよい乗り物であるということ、地域の全ての方にTCCをまず認知いただくことが、今TCCと四條畷市の共通課題として持っている。夏休みについては、イベントをいただいているほか、現在は自動運転技術としてはグリーンホール田原と田原台センターを自動運転しているが、その後技術が確立してくれば、他の地域への展開も

(案)

考えていけるのではないかと考えている。

□：信号認識システムの実証実験の実施時期は決まっているか。

◆：今年度の実証実験については、11月頃を予定。詳細な日程はまだ決まっていない。

◇：路上駐車について、現状どのくらいあるのでしょうか。運行上問題がないのか、何か対策等をしているのか教えてほしい。

◆：現在自動運転レベル2で運行しているが、遠隔アシスト支援というかたちで、遠隔監視センターから運行を支援する実証実験を行った。路上駐車に関しては、課題感を感じており、遠隔で路上駐車を回避するというのもなかなか難しい状況もあった。

◎：田原管内は、路上駐車が非常に少ないところである。実証実験中も、路上駐車を想定した遠隔アシストの実験も実施した。まだ技術が全て確立しているわけではないが、この管内の道路交通状況であったり、路上駐車状況を鑑みて、今のところは支障ないようなかたちであると認識している。

○：地域主体のアウトドアフィールドづくりについて、今回対象地の自然環境について調査しているということで、プラットフォーム会議があり、おそらく年度の報告等があると思うが、地域の小中学校で発表いただけるような、子どもたちにも分かりやすい成果発表を行ったらいいいのではないか。

◆：今の進捗としては、8月7日に第2回のプラットフォーム会議を実施予定であるが、この地の歴史や、昔ここの地がどう使われていたか、詳しい方をお呼びしたり、文化財課の職員にも来てもらいながら、まずプラットフォーム会議で色々インプットをしていくという話になっている。プラットフォーム会議の中でも、環境学習や歴史的なものについて、小中学校と連携ができたらいいいという話も出てきているので、その辺も踏まえて、今後議論を進めていきたい。

自動運転についても、このアウトドアフィールドについても、地域の支援を使って、その中で地域主体のまちづくりを行っていくことが非常に重要であり、自動運転も導入することが目的ではなく、地域の中の移動支援を確保し、地域の方達が住みよい街を作っていくというのが、私たちのめざすべきゴールと考える。

☆：地域公共交通会議の事務局を担当している。先ほど委員から路上駐車の対策についてご意見が出たことについて、昨年度開催の地域公共交通会議において、この路上駐車の対策について情報共有させていただいた経過がある。当時の説明としては、自動運転のルートにおいて、路上駐車が要因となり、手動回避が発生しており、特に配送業者の一時的な駐車が多かったという内容でありました。その際に、地域公共交通会議には警察の方も参加していただいております、悪質な場合であれば、取り締

(案)

まりをしていただけるということも確認している。また、大阪運輸支局からも配送事業者が特定できれば、協力の要請は可能ということころも、発言いただいている所である。なお、個人事業主の配送の場合は、協力の要請が難しいというところのご意見も聞いているので、映像記録から駐車車両を特定できた場合は、関係機関が連携して指導に行けるようなかたちの支援は可能である。

●：TCCのボランティアをしているが、地域の方がおっしゃられていたようにまだまだ周知が足りないんだなというのはすごく実感している。回覧板などでのボランティアスタッフ募集であったり、色々発信はいただいているが、現状水曜日の運行に定期的にご利用いただいている方や、それを知って田原台センターからグリーンホール田原に来たり、買い物行くのに少し乗せてほしいなど、ちょっとずつ利用者も増えている。夏休みになれば、支所のロビーに受付を置いているが、子どもたちがいれば、「乗っておうちに帰れるよ。自転車がなければ乗って帰り」など、声掛けもしている。ただ、自動運転ルートではできないが、手動運転ルートでお家の近くまでの乗り場まで乗せてあげたりということもしている。地域ですごいことしているよということを、子どもから親御さんの耳元の方に声が届けば少しずつ周知につながるのかなと本当に地道に活動している。あとは、七夕まつりであったり、地域のマルシェが年に2回あるが、その時の送迎であったり。(駐車場にたくさん車を停めれないので、会場までの送迎など)いろいろな活動はさせていただいているつもりである。自治会の方で連絡会とかあれば、こんな活動をしているらしいと、ちょっと乗ってみようかと覗きに来ていただければと考えている。

○：下田原はあまり自動運転が走っているという認識はまだない。いつ自動運転レベル4の実証実験をやっているのか知らない人が多い。この地域は、農家や百姓の車が多い。軽トラックとかが止まって、それでみんな動いている。

◎：上田原下田原については、農業をされている方が非常に多く、協力されながら移動を確保されている。TCCのみなさんと周知の方も頑張っていきたいと思っている。